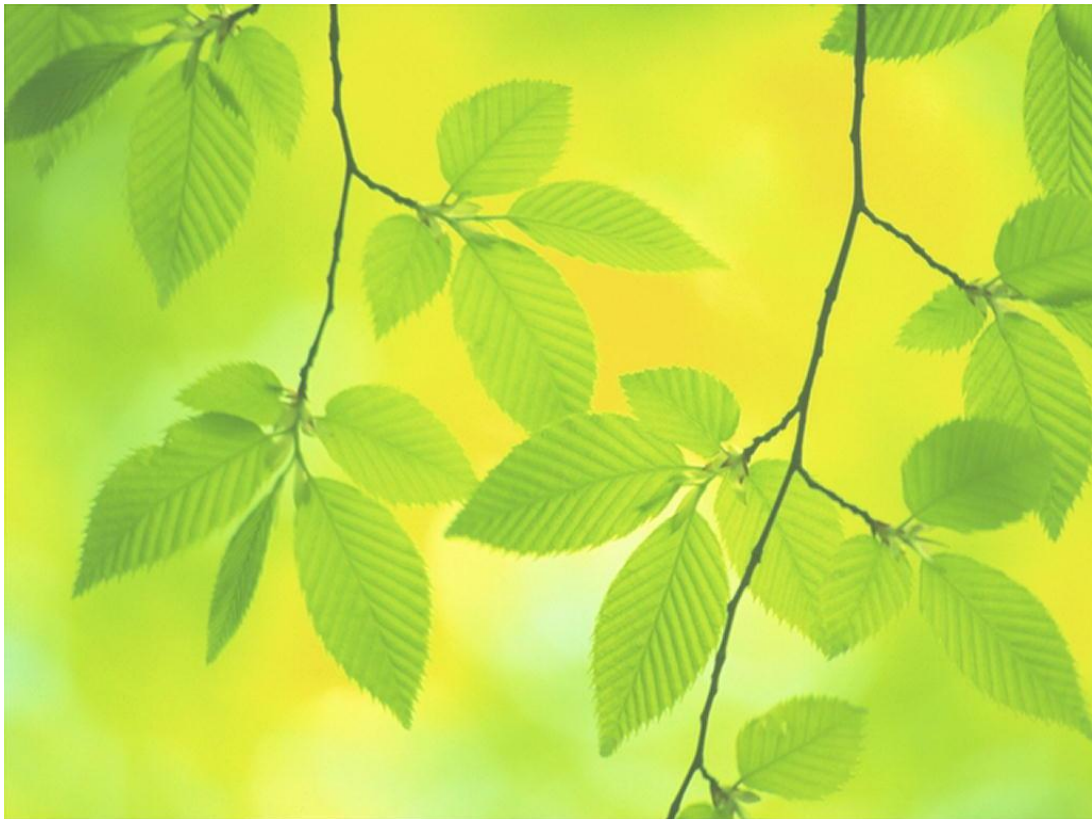


令和 6 年度

ふくしま絆ふれあい支援事業

「ふくしまを十七字で奏でよう」

作品集



福島県教育庁いわき教育事務所

令和 6 年度 ふくしま絆ふれあい支援事業 「ふくしまを十七字で奏でよう」作品集について

本県教育委員会の各種事業につきましては、日頃よりあたたかい御支援をいただき、ありがとうございます。

ふくしま絆ふれあい支援事業「ふくしまを十七字で奏でよう」は、平成14年度から長年親しまれてきた「十七字のふれあい事業」の後継事業であり、令和3年度から「絆（きずな）部門」と「ふるさと部門」の2部門構成で広く県内外から作品を募集しています。

さて今年度福島県内では、絆部門に27,115組、ふるさと部門(全国からの応募も含む)に10,954組、計38,069組もの応募がありました。その中で、いわき管内でも、絆部門に3,831組、ふるさと部門に1,454組、計5,285組もの応募がありました。今年度も数多くの小学校や中学校、高等学校からの応募があり、改めて感謝申し上げます。また、県の最終審査におきましては、いわき管内からふるさと部門で最優秀賞2組と佳作1組、絆部門で優秀賞2組が選出され、素晴らしい結果となりました。

この事業は、子どもと家族、子どもと地域の大人、子どもと子どもなど、家庭や地域における人と人とのかかわりの中で感じた思いや願いなどを十七字で表現することを通して、子どもの豊かな心を育成するとともに、人と人との「絆」を強め、家庭や地域の教育力の向上を図ること、またふるさとふくしまへの思いや震災体験、それを乗り越えてきた気持ちを詠むことで、震災の記憶の継承と復興に向けた思いを共有することを趣旨としています。

この作品集は、いわき管内から応募のあった作品中、第一次審査を通過した作品を取りまとめたものです。

十七字に込めた思いや願いがこの作品集を通じて共有され、今後の創作の輪が広がっていくことを願っております。

令和7年1月

福島県教育庁いわき教育事務所長 大竹 孝喜